

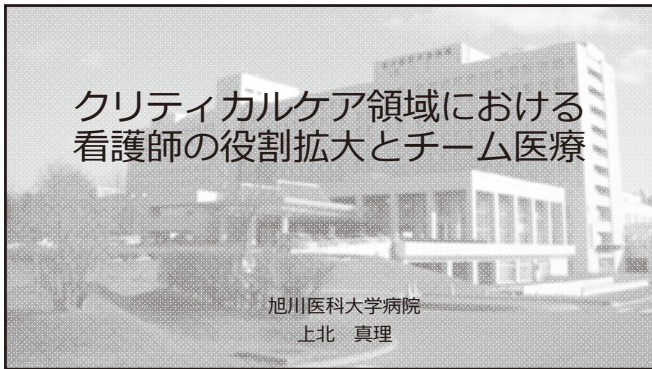
# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2020.3) 令和元年度:91-93.

クリティカルケア領域における 看護師の役割拡大とチーム医療

上北 真理



日本集中治療医学会学術集会 COI 開示	
筆頭発表者: 上北 真理	
① 役員・顧問等の報酬*	無
② 株式の利益*(または株式の5%以上)	無
③ 特許権使用料など*	無
④ 講演料など*	無
⑤ 原稿料など*	無
⑥ 研究費・助成金など**	無
⑦ 奨学(奨励)寄付金など**	無
⑧ 寄附講座所属	無
⑨ その他(旅費・贈答品など)‡	無

Asahikawa Medical College Hospital Department of Intensive Care

### 施設概要

- 特定機能病院、がん診療連携拠点病院、救命救急センター  
地域周産期母子医療センター、災害拠点病院
- 病床数 602床 (ICU 10床)
- 平均在院日数 12.1日
- 病床稼働率 86.3%
- 手術件数 7975件/年 (2018年度)

Asahikawa Medical College Hospital Department of Intensive Care

### 特定行為研修について

- 研修施設 公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校
- 研修期間 2017年9月26日～2018年3月29日  
9月下旬から11月末日 e-ラーニング  
12月・1月 集合研修  
2月・3月 (5週間) 臨床実習
- 実習施設 旭川医科大学病院 (自施設)  
(手術室・ICU・救急外来・救命病棟・一般病棟)

Asahikawa Medical College Hospital Department of Intensive Care

### 特定行為研修受講時と受講後の支援体制

- 看護部  
e-ラーニング期間: 勤務控除 集合研修期間: 出張扱い  
自施設実習期間: 院内研修扱い
- 他部門  
医師: 実習期間中の直接指導、研修終了後のフォロー  
薬剤師: e-ラーニング期間、実習期間中の間接的指導  
医療安全管理部: 研修終了後の活動内容の確認と把握  
→院内事故防止対策委員会での実施報告

Asahikawa Medical College Hospital Department of Intensive Care



## 研修終了後の活動

- 研修後～一般病棟で通常勤務（夜勤あり）  
入院患者に対し、ケアの一連の流れでの特定行為の実施  
医師から依頼された患者（自部署）に対するPICC挿入
- 今年度～ICUで通常勤務（夜勤あり）  
平日日勤を多く配置→他部署からの依頼に対応（PHS携帯）  
ICU入室患者への特定行為の実施
- 実習協力機関として研修生の受け入れ  
日本看護協会 看護研修学校で「救急・集中ケアモデル」を受講  
されている研修生の実習受け入れ

Aichi University Medical College Hospital Department of Intensive Care

## 臨床実習の様子



Aichi University Medical College Hospital Department of Intensive Care

## 当院で実施している看護師特定行為

- 創傷管理分野（4区分7行為）
- 救急・集中ケア分野（6区分15行為）
  - 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（2行為）
  - 呼吸器（気道確保に係るもの）関連（1行為）
  - 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連（4行為）
  - 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（1行為）
  - 動脈血液ガス分析関連（2行為）
  - 循環動態に係る薬剤投与関連（5行為）

Aichi University Medical College Hospital Department of Intensive Care

## 昨年度の特定行為実施状況（一般病棟勤務時）

- 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
  - ✓ 侵襲的陽圧換気の設定変更 3件
  - ✓ 非侵襲的陽圧換気の設定変更 2件
- 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
  - ✓ PICC挿入 23件
- 動脈血液ガス分析関連
  - ✓ 直接動脈穿刺法による採血 12件
  - ✓ 橈骨動脈ラインの確保 3件

Aichi University Medical College Hospital Department of Intensive Care

## 特定行為の実施による効果

- 患者状態に応じてタイムリーな介入・処置を提供することができる
- 看護師が医師への報告・連絡・相談を迷っている時に、相談に応じ解決することができる
- 看護師の視点で医行為を実施するため、その後の観察点や注意点を明確に担当看護師に伝えることができる

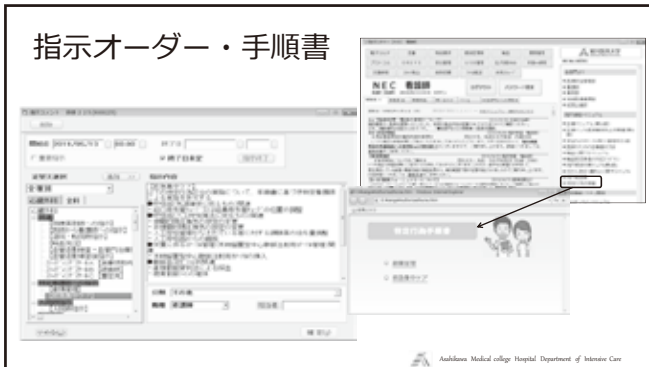
Aichi University Medical College Hospital Department of Intensive Care

## 特定行為を実施するためのシステム構築

- 代行オーダーの権限  
病院情報システム上で、X線撮影、検査オーダーの権限を追加
- 指示系統の明確化  
主治医が「手順書に基づいた実施」を許可する指示をだすために  
指示のテンプレートを作成  
手順書をいつでも参照できるよう、ランチャーに掲載
- 実施記録  
自身が実施した内容と、主治医にもその後の確認を依頼している  
ことを看護記録として記載

Aichi University Medical College Hospital Department of Intensive Care

## 指示オーダー・手順書



## 今後の課題

- 特定行為を実施する対象の拡大
- 特定行為研修・NPコース・認定看護師教育課程（新カリキュラム）を受講する看護師の支援
- 指定研修機関の申請に向けた体制の整備